

Ditch

水路

あの日も雨が降っていた。
雨が汚いどぶ川を激しくたたきつけていた。
これほど降ればこの汚い川も、きれいな水に薄められて少しはましな川になるんじゃないかと思ったけど、少しきれいになった気がしたのは雨が降っている間だけだった。
翌日になると、あちこちから雨に流されてきたゴミや、汚水やらでもっと汚い川になっていた。
結局、どぶ川はどぶ川。きれいな流れになんかなりっこない。俺は、翌日あの川を渡ったんだ。あの橋を・・・
あの腐ったコンクリートの汚ねえ橋だって、ただ川を越えるには充分だった。

俺、信じてたんだ。あっち側へ渡りさえすれば、なにもかも変わるって。だけど、変ったのは、真実、俺の心の中だけだった。今ならちゃんとわかるんだけどな。結局、俺もあの川とおんなじだ。俺の町。汚い川が流れる暗い町。昼間は毎日どこからかガンガン音がして、夜になれば、酔っ払いがわめく声。角の花屋は貧乏臭いけた花ばかり売ってた。ようやく毎朝シャッター開けるだけの靴屋、ゴム靴ばかり並べてたな。川沿いの道の途中にある鉄工所の倉庫。あの頃はもう使ってなかった。あそこでよくバンドの練習したっけ。錆びついた倉庫の中じゃ、ギターの音は妙に本物っぽく聞こえるから、あそこじゃまるで英雄にでもなったようだった。あの町のことは全部、道も、家も、看板も、通りのゴミ箱も、ノラ犬の顔だって、なにもかも、そらで頭の中に思い描ける。あのどぶ川の臭い・・・もう少し歩けば、あの橋に出る。本当に渡るのか？ あの橋を。

暗い町・・・橋を渡れば俺の町がある。あの腐った橋も、まだ渡るには充分だろう。考えよう、少し、ここに座って。この雨が俺のなにもかもを、洗い流してくれるまで・・・



COLUMN

鎌倉の猫事情 第七十話

翌朝には、グーニーの左前足は元の3倍もあるかと思われるほど腫れ上がってしまいました。それほど痛がる様子は見せませんが、傷ついた足には力がまったく入らないらしく、ぶらりと宙に浮かせている姿が可哀そうです。長年色々な猫と暮らしていますと、様々な場面に遭遇しますが、いつも不思議に思うことは、とにかく猫はめったに痛がらないという点です。グーニーは家族を持つ雄猫の宿命なのでしょうが、元気な頃はしょっちゅう表に出掛けては、近所の雄猫達と争っては傷を負って帰ってきました。それこそ、背中じゅうにべったりと血糊が浮くような傷を負っても、それほど気にはならないかのように、また一戦交えに出掛けて行くのです。痛くないのか、それとも少々傷より戦いの方が大事だと思っているのかわかりませんが、雄だけでなく、スィーピーにしても、ストーブに飛び降りて可愛い肉球が炭になるほどの火傷を負っても平気で歩いています。人間ならいずれも全治1ヶ月というような重傷です。長年にわたる観察の結論は「猫は人間ほどは痛くない」ですが、「人間よりずっと我慢強い」のかもしれない。ですから、この1年余りの間グーニーが苦しむ口の中の痛みの発作は、並大抵の痛みではないのだと理解しています。今は左足の痛みがまださほどではないにしても、グーニーの病状はどうに深刻な状況でした。進行した猫エイズ、猫白血病の検査も陽性、その上肝炎があります。どの病気も免疫不全を引き起こすものです。1年以上前の口の中の傷もふさがらないのなら、今回の傷が癒えるものなのか、心配です。獣医さんの診療が始まるのを待って、グーニーを抱えて出掛けました。いつも優しい主治医の先生は、私のタベあった出来事のかくがくしかじかと言うのを聞き、グーニーの足を診てきびしい表情を浮かべました。グーニーは抵抗する気力がないようで、いつになく神妙です。私達は先生の言葉を待っていました。少しの間があり先生は厳肅な面持ちで言われました。

「そういう猫には、天罰下さなければならぬ」

「えっ?」「天罰ですよ」・・・テ、テンバツ?

「そう、その猫の侵入路にわなを仕掛けるのです。そういう猫は人間が脅してもだめです。その人間がいない時を狙えばいいのですから」ん、確かにそうだった。いくら脅しても、私が出掛けるのを待って襲撃してきたのだから・・・先生は毅然として続けました。

「だから、わなですよ。どこからともなく襲い掛かるわなです。侵入路に入ると何か降ってくるとか、ガランガラン音がするとか。人間の姿を見せちゃ駄目です。そうすれば、猫はわけがわからなくて、何かここは危ない。何かあるぞと思って近づかなくなりますから」なるほど、天罰ね・・・うん、やってみよう・・・

「ところで、今日のところは化膿止めの注射だけにしておきましょう。しばらく毎日通って下さい。傷の進行具合を見ましょう。わなを忘れずにね・・・」



to be continued



骨董・古陶磁 古民芸

CURIO



cu·ri·o
— n. (pl. ~s) 骨とう品
cu·ri·os·i·ty
— n. 好奇心; 珍奇なもの
curiosity shop 骨とう店

ミルクホールの珍品達

桃山時代 瀬戸の筆洗

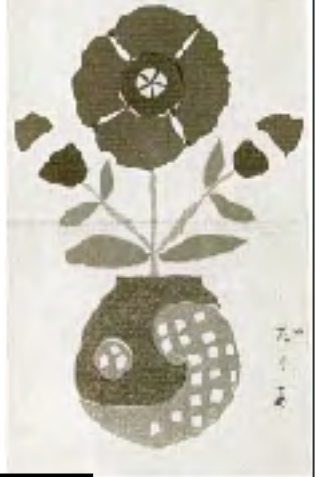
桃山時代は日本の焼き物エポックの時代。戦国の武将達はダイナミックに茶道具や花器などの焼き物に取り組みました。その感性は戦場での死生観に囚われながらも、刹那の美意識によって研ぎ澄まされたのです。瀬戸の筆洗、ゆがんでいるのは焼き損じの為。貴重な発掘品です。 ¥38000

ベトナム石灰壺

桃山の武将、古田織部は茶道具の世界に織部焼きの新風を吹き込みました。桃山の茶人は安南(ベトナム)の焼き物を好み、当時盛んに交易が行われていました。その際にこの緑釉の石灰壺(水煙草用)をヒントに織部焼きを生み出したと言われています。 ¥7500

中国 獅子香炉

鉄製の香炉。獅子の顔形がなんとユーモラスです。古いものですが、時代は知りません。とにかく様子が好いので一押しです。 ¥80000



LIVE

ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください

by HALF MOON

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

琢磨 仁(Jin Takuma)
琢磨 啓子(Keiko Takuma)

ライブは毎月第三土曜ですが、
7月8月は都合により、第四土曜日に
変更させて頂きました。

8/25 Sat. pm 7:30

Information

ミルクホールタイムス定期購読募集

ミルクホールタイムスは、毎月25日に発行しております。
定期購読お申し込みの方には、毎月25日郵送いたします。
詳しくはミルクホールまで 年間購読料 ¥1500

ミルクホールタイムス総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」№.001 ~ №.100

ミルクホールにて販売中 一部 ¥1800

ミルクホールタイムス創刊号から100号まで全てを編集した、
ミルクホールタイムス総集編を発行致しました。
「鎌倉の猫事情」第一話から、また「ガラクタ通信」など、ミルクホール
30年のあれこれが楽しめる本になっています。

HISTORY

KAMAKURA 場所の記憶 №.17

ミルクホール その7 ルーツ

私達は、日々を生きています。今日の前にある事のほかに特に気にする事もなく、何気なく毎日を生きています。そして少しの毎日の糧に喜び、時折出会う不運にはがっかりしながらも、また気を取り直して取り組もうと生きています。その平凡な悲喜こもごもの日々が、色々な縁に形作られたものだ、と、気付く一瞬があります。そうした時に自分とそれを包むように取り囲んでいる人たちの歩いてきた道筋を振り返り、深く感動することが、一生のうちにはあるような気がします。私はこのミルクホールの場所に関わる人たちと、それを取り囲む不可思議な縁に幾度も驚かされました。そして深い郷愁を感じています。

私は、一枚の写真を手にしていました。それは、古めかしい建物の前で出征の祝いを受けている兵隊と、そこに寄り添う女性の写真でした。兵隊の顔は少し緊張し、胸を張って後ろ手を組んでいます。女性は花柄の着物を着、髪は一つにまとめています。二人とも、笑ってはいません。後ろには建物のバルコニーから、大きな垂れ幕が掛けてあるのが見えます。『祝……磯見満君 居留民團』磯見満氏は、この家の先代、そう、前にお話したように、後に小町通の赤い鳥居を建てた人です。寄り添う女性は、その最初の妻となった人です。若い夫婦は鎌倉で結婚すると間もなく、中国の青島へ渡ったそうです。そして異国の地で召集を受けたのです。そういった話、こういう風景は当時ごくありふれた事だったでしょうが、時が流れて見てみれば、なんと残酷で異常な事でしょうか。この出征の後、兵隊は無事帰国を果たしましたが、この若い女性は生きて祖国の地を踏む事はなかったと聞きました。美しく賢い人だったと、人から聞かされました。カトリックの信者であったそうです。 次号へ続く



ANTIQUES

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

次回の骨董・ガラタ市
ミルクホールの蚤の市は
10月の予定です。

ミルクホールでは
大正・昭和初期の日本のものを中心に、和洋
家具、アンティーク等、毎月入荷しています。
伊万里や、古代の発掘品など、
骨董ファンの方にも楽しんで頂ける
掘り出し物も揃えています。

♠ 和洋家具

★★大正・昭和初期
家具・ケース

- ★★大正ガラス飾り棚
- ★★最上箆笥 明治時代
- ★★衣裳箆笥各種
- ★★明治時代帳場箆笥
- ★★大正時代水屋
- ★昭和30年代本立て各種
- ★★昭和初期デスク
- ★★丸テーブル
- ★ガラスケース
- ★★明治文机
- ★昭和初期鏡台
- ★ちゃぶ台



♣ 古陶磁

- ★★★★伊万里そば猪口
- ★★明治時代薩摩徳利
- ★★★★江戸中期薩摩水盤
- ★★★★江戸初期古唐津陶片
- ★★大正色絵碗・小皿・徳利
- ★★古伊万里豆皿
- ★★明治瀬戸石皿
- ★★平戸猪口
- ★★古伊万里なます皿
- ★★伊万里錦なます皿
- ★★高麗青磁色々
- ★★明古染 杯
- ★初期伊万里陶片
- ★縄文土器欠片

♣ 古民芸

- ★タイ製仏お守り
- ★★大正時代輪島塗
- ★★灯籠台 天燈器
- ★★鉄製獅子香炉
- ★アフガン石仏

◆ アンティーク

- ★★明治・大正の氷ガラス各種
- ★★昭和初期色ガラスショットグラス
- ★★昭和スタンドライト各種
- ★アンティークシェード各種
- ★レプリカシェード ¥5800より



和の小もの

ミルクホールオリジナル 和の小もの

大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を
素材に使った和の小もの色々です

✂ 半衿・帯揚げ

★★各種半衿 新入荷

半衿は、着物のコーディネートのポイント
です。半衿を替えてみるだけで、一枚の着
物の雰囲気ががらりと変わります。

鹿の子絞りや、ちり緞、お召し、銘仙など、
昔の着物をほどこして半衿に仕立てました。
大正風にアレンジするなら銘仙など、
半衿で、自分流の着こなしをお試し下さい。

半襟 ¥800より 帯揚げ ¥800より

✂ 古布

使い方色々、長尺ものから、小さな端布の
アラカルトまで、様々な素材、色々なサイズ
の布を揃えています。

値段の目安は1メートルで1000円ほどです。
希少価値のある柄物は、少し割高です。

端布組み合わせ ¥300より
縮緬・銘仙など ¥1000/m

★ 着物・アンティーク古着

銘仙やお召しの大正・昭和初期の着物が入荷
しています。又、着易い紬や木綿など。

★★大正時代着物色々
夏物単衣・木綿緋・ゆかたなど
袷着物 紬・銘仙など

つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし

✂ 帯・つくり帯

★ミルクホールオリジナル
新作帯作りました！

大正・昭和初期の華やかな色柄の着物を
解いてミルクホールの半幅帯を作りました。
表と裏の色合いを変えたり、右と左を柄違
いにしたりして作ってあります。
結び方を変えようと一本の帯で違ったデザイン
が楽しめます。

★★大正・昭和初期名古屋帯
★半幅各種

着物は、着るのが面倒なものです。
つくり帯を持っていると着物が身近に
なってきます。初心者の方にも、着物
に慣れた方にも、お気に入りのつくり
帯をお持ちになることをお勧めします。
またお買い上げの 帯もつくり帯に
お仕立て致します。

名古屋帯お仕立て ¥3000より

✂ かんざし

★ミルクホール製花のかんざし
花のかんざし ¥2500より
★ミルクホール製木のかんざし
木のかんざし ¥1800より



ささめや ゆき 作
鎌倉花火大会の絵 8月10日(予定)

ささめや ゆき 観光絵はがき 夏の巻の一枚です
春夏秋冬4種類 1部 450円 販売中
ミルクホールの絵も入っています。

鎌倉花火大会